

(株)ダイフレックス

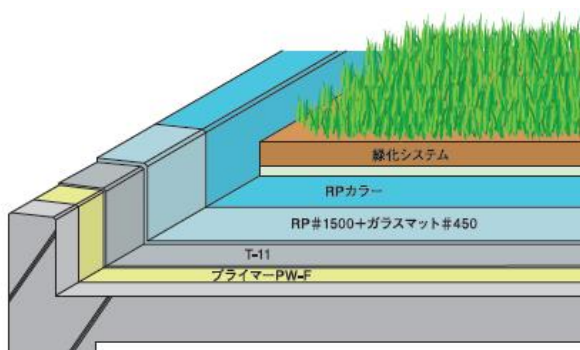
<http://www.dyflex.co.jp/>

屋上緑化専用防水システム

グリーンプレイス

複合防水だから緑化に求められる防水の条件をすべてクリア

メンテナンス性

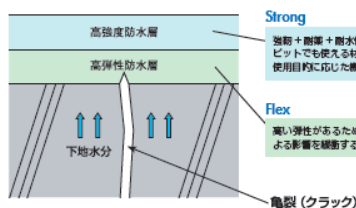


ダイフレックス防水層の基本構成

建物の挙動や膨張・収縮などさまざまな要因により、コンクリート構造物には亀裂（クラック）が生じますが、単層の防水層ではこの応力（ゼロスパンテンション）により、損害を受けることが懸念されます。

これに対し、ダイフレックスは屋上緑化専用開発した複合防水システム（防水層の二重構造化）により、下地亀裂による防水層の損傷を克服しています。

また強靱で耐根、耐薬、耐久性などに優れた高強度防水層をシームレスに形成することにより、植栽用防水層に求められる様々な要求に応えています。



各層とも防水材を使用
表層はシームレスで塗り重ねが可能



防水施工完了



植栽施工完了

設計価格 | ￥13,400 (材工)

標準仕様 | 屋上・ルーフバルコニー

工 法 | U-VF工法

適応部位 | 屋上・ルーフバルコニー

<工 程>

- ①プライマーPW-F 0.2kg
- ②T-11 1.4kg
- ③RPプライマー+セメント 0.2kg
- ④RP #1500 0.6kg
- ⑤ガラスマット #450 1.07m
- ⑥RP #1500 0.8kg
- ⑦RPカラー 0.4kg

※平場・立上りとも、植栽部以外の防水層の露出部分はトップコート仕上げになります。

改修

改修工事の留意点

既存の建物に緑化をする留意点

現在使用中の建物の屋上に新たに緑化を計画する場合、耐荷重と同様に重要なのは「既存防水層が緑化の環境に適しているか」という点です。土中という条件や植物の根等に対応できる防水層でなければ、建物に大きな損傷を与えるからです。また、緑化した後の防水改修は困難であると同時に大きなコスト負担となるため、緑化に適した防水工法での改修が必要になります。

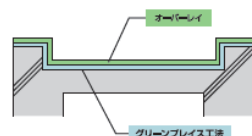


グリーンプレイス工法は、緑化に最適な防水であることをはじめ、形状おりの施工が可能のため、すでに形が決まっている既存建物の防水改修工事において充分な安全性が確保できます。

改修工事では、下地処理が必要になります。既存防水層の現状・状態により処理方法が異なりますので、別途ご相談ください。

グリーンプレイス工法を改修する場合の優位性

グリーンプレイス工法で使用する防水材は、塗り重ね（オーバーレイ）が可能のため、墨去をせずに防水改修が行え、ライフサイクルコストが低減できます。



メンテナンス

- 万が一の漏水でも、防水層の欠陥箇所が特定できます。
- 補修が容易にできます。

- 万が一漏水した場合（例えば人為的におきた事故）、密着工法のため漏水場所から防水層の欠陥箇所が特定できます。
- 問題のある部分に塗り重ねるだけで容易に補修が可能です。また、密着工法のためスラブ下からの止水処置も可能です。

万が一の場合も迅速に対応できる防水工法です。

